

# HOT NEWS

## 雲仙復興事務所

平成23年6月29日

★「循環型社会の試み」に参加して来ました。  
＜海に入り、協働の汗をかきました！＞ [環境月間]

発信元

建設専門官 児玉 幸三

有明海で発生するアナアオサは、海洋資源への影響や悪臭・景観悪化の問題を抱えている。回収したアナアオサは産業廃棄物となるため、県ではその処分に苦慮していた。そうした中、平成19年からアナアオサを家畜の飼料や堆肥として活用する試みを、島原農業高校(社会動物部)を中心とする産・学・官が共同で進めている。

5月22日(日)、当事務所のボランティア2名が、島原農業高校社会動物部と産学官のメンバー、そして、学童保育の生徒達の計約50名と協働して、海につきり、早朝から夕方まで汗びしょりになりながら、一連の工程を実際体験してきました。

今後、アナアオサや公有地の雑草を食べて育ったヒツジを新たな地域特産品にする取り組みも検討中とのこと、今後が楽しみな取り組みです。

